

事業所名		公表日			
APIMo中山教室(放課後等デイサービス)		R7年 7月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	・視覚化出来ることをしている 施設やチャイムがついて良かった	・ 視覚支援を活用し、児童が見通しを持って過ごせる環境づくりを行っています。また、施設設備やチャイムの設置により安全管理体制の向上を図っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・ 個別空間を作ることが出来る	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2		・ 業務改善に向けた振り返りは行っていますが、時間や共有内容に課題があります。今後は、定期的な振り返りや意見交換を充実させ、PDCAサイクルをより効果的に運用していきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・ 相談窓口を設けて改善しようとしている	・ 評価アンケートを実施し、職員で事後の会議を実施しております。改善や対策についての詳細は別紙「総括表」をご確認ください。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	・ 職員ミーティングを行い意見交換の場を設けている	・ 職員ミーティングを通して意見交換を行っています が、時間的な制約もあり、十分な話し合いができないことがあります。今後は意見共有の機会を増やし、業務改善へより確実に反映できる体制づくりを進めていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		・ HPIに公開済
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	・ 常勤職員だけではなく新しい風を取り入れるために非常勤職員もチームに加わり活動プログラムを実施している	・ 児童の興味や発達段階に応じた活動を実施していますが、より幅広いニーズに対応できるよう、職員間で情報共有を充実させ、新たなプログラムの検討や内容の見直しを継続して行っています。また、常勤・非常勤職員がそれぞれの視点を生かしながら、より一体となって企画・実施できる体制づくりを進めていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	・ なるべく興味があるものをプログラムに取り入れるようにしている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・朝礼時に共有と確認を行っているが不足している部分はある	・朝礼時や翌日に情報共有・確認を行っていますが、簡易的な共有にとどまることもあり、十分に伝わっていない場面が見られます。今後は、児童の支援に関する情報だけでなく、活動・業務・事務連絡等も含めて共有内容を整理し、職員間で共通理解を深められるよう改善していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	・翌日に行っているが少ないことがある	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	3	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	・選択できるように提示している ・自己決定が出来るようにコミュニケーションを大事にしている	・自己決定を促す支援を行っていますが、自分の思いや希望を言葉で表現することが難しい児童もいるため、一人ひとりの特性に応じた伝え方や選択肢の提示方法をさらに工夫していく必要があります。今後も、児童が安心して自分の意思を表現できる環境づくりに努めていきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	・運営責任者が参加している	・現状、管理職を担う職員が出席をしています。該当児童の担当職員が出席することも視野に検討を致します。その際、事業所を代表し適切な視点で意見を発信できる職員からの適正は慎重に判断させていただきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	・保護者のご要望により保育園との連携を行った	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を相互理解に努めているか。	1	2	・努めてはいるが少ないと感じる ・通園時から保育園・幼稚園スタッフとのコミュニケーションを大事にしていた	・保育園・幼稚園等との情報共有に努めていますが、連携する機会が限られていることが課題です。今後は、関係機関との連絡や情報交換の機会を増やし、相互理解を深めながら継続した支援体制の充実を図っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	・まだ該当児童がいない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	・療育センターとの連携は必要に応じて行っているがスーパーバイズに関しては未実施	・積極的に検討していきたいと考えています。詳しくは別紙「総括表」をご確認ください。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	・おもちゃ文庫や地域交流が図れる施設への遠足を取り入れている ・外遊びや散歩等の活動内で交流がある	・地域施設への外出や外遊び等を通して交流を図っていますが、機会や内容に偏りが見られるため、地域とのつながりをより深められる活動を継続的に取り入れていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0		
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	・保護者会は行っているが、定期的な家族支援プログラムや参加型の研修を取り入れても良い	・保護者会を実施していますが、定期的な家族支援プログラムや保護者参加型の研修等については、今後さらに充実を図る必要があります。日々のコミュニケーションを大切に、お子様の様子を共有しながら、家族支援につながる取組を進めています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	・保護者会を年1回の開催、ふれあい祭りでの交流を年1回行っている ・父母会や父母が集まる会(イベント)があると良い	・保護者会やふれあい祭りを実施していますが、保護者同士やきょうだいを含めた交流の機会は十分ではありません。今後は、交流の場を継続しながら、保護者同士の交流が深まる企画や家族で楽しめる内容を取り入れ、イベントの充実を図っていきます。
	41	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	・まだ行えていない	・事業所主催の地域交流行事ではありませんが、12月には土曜レクリエーションとして外部団体を招き、イベントを実施しました。地域資源を活用した活動を取り入れ、児童が地域とのつながりを感じられる機会づくりに努めています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	・行っているが、年度で更新があればほしい	・事務所に「食物アレルギー対応表」を掲示しております。年1回のアレルギー研修等でアレルギーマニュアルや対応表の活用方法について職員の学びに繋げて参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		・7月の職員研修にて、安全計画を取り扱っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		・7月の職員研修にて、安全計画を取り扱っています。安全計画に掛かる訓練や研修を実施した際には、LINE@にてご利用者様に周知するフローを改めて職員間で確認致しました。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		・ヒヤリハット事例があった場合、所定の記録用紙に記録し事業所内研修時に振り返りや対策について検討する時間を設けております。確認の頻度を増やすなどの検討をしながら、より安全に過ごせる為の組織づくりに努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	3		・現在は身体拘束の対象となる児童はいませんが、必要が生じた場合には、組織的な判断のもと保護者へ十分に説明・同意を得た上で、個別支援計画へ記載し適切に対応します。